

事業報告書

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

1. 農作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分								
		人	a	kg	円	円	円	円
	水 稲	(実) 11,207	1,646,100.5	56,694,995	10,820,096,469	9,729,629	9,467,155	19,196,784
内 訳	一筆方式	11,156	1,632,128.8	56,544,215	10,694,974,296	9,452,754	9,272,486	18,725,240
	半相殺方式	1	266.6	10,927	2,130,765	10,696	10,252	20,948
	地域インデックス	2	2,883.8	139,853	27,271,335	1,904	1,645	3,549
	品質方式	49	10,821.3		95,720,073	264,275	182,772	447,047
	麦(2年産)	(実) 371	266,773.2		812,513,502	35,053,042	18,712,416	53,765,458
内 訳	一筆方式	16	5,009.0	85,036	9,255,524	301,450	293,451	594,901
	災害収入	355	261,764.2		803,257,978	34,751,592	18,418,965	53,170,557
	麦(3年産)	(実) 291	204,357.0		640,074,025	26,814,537	14,277,719	41,092,256
内 訳	一筆方式	13	2,615.8	44,778	6,169,330	186,519	181,566	368,085
	災害収入	278	201,741.2		633,904,695	26,628,018	14,096,153	40,724,171

水 稲 ○ 前年対比：引受面積 79.7%

○ 引受概況：令和2年産水稲の引受面積は、収入保険への移行により前年産に比べ4,200ha減少した。

これにより共済金額は2,460,518千円減少し、加入方式別の割合（組合員数）は、一筆方式が全体の99.5%を占め、品質方式は0.4%、地域インデックス方式は0.1%となった。

麦 ○ 前年対比：引受面積 76.6%

○ 引受概況：令和3年産麦の引受面積は、収入保険への移行により前年産に比べ624ha減少した。

これにより共済金額は172,439千円減少した。

(被 害)

区分	項目	被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	生産金額減少額	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$	備 考
		人	a	kg	円	円	%	
	水 稻	(実) 232	12,836.6	150,633	-	24,821,077	0.2	
内 訳	一筆方式	(実) 229	12,502.1	147,297	/	24,538,664	0.2	
	品質方式	3	334.5	3,336		282,413	282,413	0.3
	麦	159	56,203.8	312,887	21,942,307	22,190,463	2.7	
内 訳	一筆方式	6	811.2	4,224	/	249,736	2.7	
	災害収入	153	55,392.6	308,663		21,942,307	21,940,727	2.7

水 稻 ○ 被害概況：7月の断続的降雨並びに低温・寡日照の影響により、県下全域においてイモチ病が発生した。
また、中山間地域において、イノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生した。

麦 ○ 被害概況：播種期の断続的降雨のため湿潤状態となり生育不良となった。また、中山間地域において、シカによる倒伏及び食害が発生した。
小麦は、4月下旬の低温により不時出穂となった。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$	
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額		その他
	水 稻	令和 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	水 稻		24,821,077		19,196,784	5,624,293			100.0
内 訳	一筆方式	R2. 12. 21	24,538,664		19,196,784	5,624,293			100.0
	品質方式	R2. 12. 21	282,413						
	麦		22,190,463		22,190,463				100.0
内 訳	一筆方式	R2. 10. 5	249,736		22,190,463				100.0
	災害収入	R2. 10. 15	21,940,727						

2. 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分		有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
死 廃 共 済	搾乳牛	860	860	866	100.7	160,735,850	6,923,319	6,921,792	13,845,111
	育成乳牛	370	370	390	105.4	56,841,400	752,328	751,721	1,504,049
	繁殖用雌牛	230	185	177	95.7	27,317,300	235,846	235,545	471,391
	育成・肥育牛	3,360	3,035	2,879	94.9	658,696,750	3,037,260	3,030,643	6,067,903
	種 豚	150	150	147		2,139,250	46,670	31,093	77,763
	肉 豚	905	905	957	105.7	5,742,000	1,482	933	2,415
	計	5,875	5,505	5,416	98.4	911,472,550	10,996,905	10,971,727	21,968,632
疾 病 傷 害 共 済	乳用牛	820	820	813	99.1	11,330,000	4,844,927	4,844,820	9,689,747
	肉用牛	2,270	1,695	1,779	105.0	10,580,000	2,593,351	2,593,230	5,186,581
	種 豚	140	140	105		10,000	759	505	1,264
	計	3,230	2,655	2,697	101.6	21,920,000	7,439,037	7,438,555	14,877,592
合 計		9,105	8,160	8,113	99.4	933,392,550	18,435,942	18,410,282	36,846,224

○ 前年対比：引受頭数 102.7%

○ 引受概況：肉牛で新規加入が4戸あったが、乳牛・肉牛・種豚で廃業があり引受頭数は微増となった。
共済金額は25,549千円減少し、前年対比97.4%となった。

(事 故)

区分	項目	死 廃 共 済				疾 病 傷 害 共 済	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数	支払共済金
		頭	頭	頭	円	件	円
	搾乳牛	57	44	101	13,303,259	乳用牛 800 (うち 子牛・胎子 44件)	10,183,121 500,284円)
	育成乳牛	3	1	4	592,600		
	(子牛)	8		8	223,990		
	(胎子)	13		13	465,213		
	繁殖用雌牛	2	1	3	325,800	肉用牛 771 (うち 子牛・胎子 230件)	8,216,663 2,717,859円)
	育成・肥育牛	4	9	13	1,827,104		
	(子牛)	15		15	1,486,200		
	(胎子)	23		23	1,701,733		
	種豚	2		2	29,750		
	肉豚						
	計	127	55	182	19,955,649	1,571	18,399,784

○ 事故概況：共済金は38,355千円（前年対比89.3%）、死廃事故（前年対比80.1%）、病傷事故（前年対比102.1%）となった。

区分	項目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	
		円	円	円	円	円	%
	家畜	38,355,433		36,846,224		1,509,209	100.0

3. 果樹共済関係 (引 受)

区分	項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
2 年 産	なし		人	a	kg	円	円	円	円
	なし		43	1,619.0		46,193,000	972,315	125,820	1,098,135
	内 訳	半相殺	19	901.6	169,903	23,439,000	545,003	51,103	596,106
		全相殺	15	467.7	111,076	14,714,000	254,199	46,829	301,028
		災害収入	9	249.7		8,040,000	173,113	27,888	201,001
	かき		48	1,359.0		7,558,000	166,582	△ 26,491	140,091
	内 訳	半相殺	3	120.2	6,520	265,000	6,672	△ 1,156	5,516
		全相殺	45	1,238.8	143,210	7,293,000	159,910	△ 25,335	134,575
	うめ		94	5,179.2		37,300,000	2,350,945	△ 138,686	2,212,259
	内 訳	全相殺	69	3,558.3	130,008	21,985,000	1,346,975	△ 122,280	1,224,695
災害収入		25	1,620.9		15,315,000	1,003,970	△ 16,406	987,564	
計		185	8,157.2		91,051,000	3,489,842	△ 39,357	3,450,485	
3 年 産	ぶどう		2	82.5	11,283	8,389,000	53,690	△ 15,770	37,920
	内 訳	半相殺	2	82.5	11,283	8,389,000	53,690	△ 15,770	37,920
		なし	47	1,622.1		49,229,000	1,100,031	139,445	1,239,476
	内 訳	半相殺	25	927.3	183,426	27,204,000	666,635	62,503	729,138
		全相殺	16	527.9	127,503	16,719,000	308,343	56,793	365,136
		災害収入	6	166.9		5,306,000	125,053	20,149	145,202
	かき		44	1,229.4		6,915,000	168,164	△ 26,754	141,410
	内 訳	半相殺	2	91.1	5,828	260,000	6,218	△ 1,077	5,141
		全相殺	42	1,138.3	122,762	6,655,000	161,946	△ 25,677	136,269
	うめ		92	4,821.1		37,855,000	2,321,005	△ 144,385	2,176,620
内 訳	全相殺	70	3,511.3	117,122	23,983,000	1,423,549	△ 129,213	1,294,336	
	災害収入	22	1,309.8		13,872,000	897,456	△ 15,172	882,284	
計		185	7,755.1		102,388,000	3,642,890	△ 47,464	3,595,426	

△：納入保険料

- ぶどう ○ 前年対比：引受面積 — 令和3年産より引受開始となったぶどうは、半相殺方式で2戸、0.8haの引受となった。
- なし ○ 前年対比：引受面積 100.2% 令和3年産なしの引受けは、収入保険への移行加入もあったが、前年より4戸、3.1ha増加した。
- かき ○ 前年対比：引受面積 90.5% 令和3年産かきの引受けは、収入保険への移行加入もあり、前年産に比べ4戸、1.3ha減少した。
- うめ ○ 前年対比：引受面積 93.1% 令和3年産うめの引受けは、収入保険への移行加入もあり、前年産に比べ2戸、3.6ha減少した。

(被 害)

項目 区分		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	共 済 金 共済金額	備 考
内 訳	なし	34	1,170.0	136,196	13,695,178	29.6	
	半相殺	18	712.4	88,948	9,281,770	39.6	
	全相殺	13	402.3	43,821	4,170,360	28.3	
	災害収入	3	55.3	3,427	243,048	3.0	
内 訳	かき	24	655.7	33,284	1,122,930	14.9	
	半相殺	-	-	-	-	-	
内 訳	全相殺	24	655.7	33,284	1,122,930	15.4	
	うめ	16	545.5	11,370	1,704,191	4.6	
	全相殺	13	496.3	10,049	1,410,060	6.4	
内 訳	災害収入	3	49.2	1,321	294,131	1.9	
	計	74	2,371.2	180,850	16,522,299	18.1	

なし ○ 被害概況：4月が低温で推移したことから着果不良となった。さらに、4月下旬の降雹により、蕾・花・幼果が損傷した。
また、7月の断続的な降雨並びに低温・寡日照の影響により黒星病が発生。嶺北地区ではカラスによる食害、嶺南地区では9月上旬の台風による落果・傷果も発生した。

かき ○ 被害概況：7月の断続的降雨並びに低温・寡日照の影響により収穫前にすす点病が発生した。

うめ ○ 被害概況：暖冬により開花が早まり、開花期間中の天候不順（寒波・雨天）により早場では着果不良となった。
さらに、開花期以降の天候不順により気温の低い日も続いたことから結実につながらず減収となった。
また、4月の降雹・強風により一部地域において傷果が発生した。

(支 払)

項目 区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
その他		令和 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
内 訳	なし半相殺	R2. 12. 21	9,281,770	12,450,670	2,130,108	1,404,342			100.0
	なし全相殺	R2. 12. 21	4,170,360						100.0
	かき半相殺	-	-						-
	かき全相殺	R3. 2. 15	1,122,930						100.0
	うめ全相殺	R2. 10. 5	1,410,060						100.0
災害収入			537,179	27,299	495,132			14,748	100.0
内 訳	なし	R2. 12. 21	243,048	27,299	201,001			14,748	100.0
	うめ	R2. 10. 5	294,131		294,131				100.0
計		-	16,522,299	12,477,969	2,625,240	1,404,342		14,748	100.0

4. 畑作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分								
		人	a	kg	円	円	円	円
	大豆	126	78,467.0	1,165,352	336,848,029	21,404,948	4,158,346	25,563,294
内訳	一筆	7	4,105.0	34,425	5,163,750	286,434	134,151	538,961
	半相殺	3	588.4	9,264	2,816,480	118,376		
	全相殺	116	73,773.6	1,121,663	328,867,799	21,000,138	4,024,195	25,024,333
	そば	(実) 369	157,024.7	489,506	132,689,912	10,362,340	2,246,952	12,609,292
内訳	夏そば(全相殺)	3	6,920.0	30,456	10,599,240	780,278	2,246,952	12,609,292
	秋そば(全相殺)	346	144,081.3	441,916	118,132,718	9,360,634		
	地域インデックス	23	6,023.4	17,134	3,957,954	221,428		

大豆 ○ 前年対比：引受面積 66.2%
 ○ 引受概況：令和2年産大豆の引受けは、収入保険への移行により前年産に比べ54戸、401ha減少した。
 これにより共済金額は198,082千円減少した。

そば ○ 前年対比：引受面積 71.4%
 ○ 引受概況：令和2年産そばの引受けは、収入保険への移行により前年産に比べ111戸、630ha減少した。
 これにより共済金額は54,194千円減少した。

農業共済事業（畑作物共済）のニーズ調査について

- 調査目的：農業共済事業の未実施品目について意向調査を行い、ニーズに応じて農業共済事業を実施できる体制を整備する。
- 調査方法：畑作物共済の未実施品目の生産者
 たまねぎ22戸、スイートコーン46戸、かぼちゃ19戸の生産者に対し調査を実施
- 調査結果及び実施の検討結果
 ニーズ調査の結果、僅かな加入意見があったものの、全ての生産者の回答が得られなかったため、引き続き調査を行うこととした。

(被 害)

項目 区分		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	共 済 金 共済金額	備 考
大豆		93	60,634.4	302,183	86,579,149	25.7	
内 訳	一筆方式	4	1,134.5	3,005	450,750	8.7	
	半相殺方式	2	559.6	2,741	849,710	30.2	
	全相殺方式	87	58,940.3	296,437	85,278,689	25.9	
そば		(実) 61	22,507.6	24,671	7,176,127	5.4	
内 訳	夏そば(全相殺)	2	6,815.8	12,498	3,825,132	36.1	
	秋そば(全相殺)	59	15,691.8	12,173	3,350,995	2.8	
	地域インデックス	—	—	—	—	—	取りまとめ中
R1年産そば 地域インデックス		2	65.1	4	880	0.03	R2年度支払い

大豆 ○ 被害概況：6月14日、28日に梅雨前線が活発になった影響で大雨となり、冠水・浸水する圃場が発生した。

7月の断続的降雨並びに低温・寡日照の影響により一部の圃場で湿潤害が発生した。

中山間地域において、収穫前にイノシシによる倒伏及び食害が発生した。

そば ○ 被害概況：4月中旬の降雨により、生育不良となる圃場が発生した（夏そば）。

8月11日から13日にかけての大雨により、生育不良となる圃場が発生した（秋そば）。

中山間地域において、イノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生した（秋そば）。

(支 払)

項目 区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	
		令和 年 月 日	円	円	円	円	円	%
大豆		R3. 3. 26	86,579,149	/	25,563,294	/	/	100.0
内 訳	一筆・半相殺	R3. 3. 26	1,300,460	/	538,961	/	/	100.0
	全相殺方式	R3. 3. 26	85,278,689	/	25,024,333	/	/	100.0
そば		R3. 3. 26	7,176,127	/	12,609,292	/	/	100.0
R1年産そば 地域インデックス		R2. 6. 5	880	/	/	/	127	100.0
計			93,756,156	52,052,412	38,172,586	3,531,031	127	100.0

5. 園芸施設共済関係

(引 受)

項目		組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
区分		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
	ガラス室Ⅱ類	14	17	9,133	91,742,233	76,412,570	60,189	51,896	112,085
プラスチックハウス	Ⅱ類 (パイプ)	906	3,453	726,498	1,978,361,693	1,661,275,958	12,772,685	3,855,917	16,628,602
	Ⅲ類 (鉄骨下)	95	201	61,027	264,833,505	222,752,859	700,653	297,145	997,798
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	38	79	46,623	231,268,847	195,974,913	251,141	168,262	419,403
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	33	61	53,372	668,477,259	564,824,679	669,238	494,569	1,163,807
	Ⅴ類 (鉄骨上)	9	17	6,051	38,949,379	31,698,577	50,187	△ 1,047	49,140
	Ⅵ類 (雨よけ)	7	11	2,193	4,560,713	3,875,305	33,561	△ 2,720	30,841
	計	(延) (実) 1,102 985	3,839	904,897	3,278,193,629	2,756,814,861	14,537,654	4,864,022	19,401,676

△：納入保険料

○ 前年対比：引受戸数 109.8%

○ 引受概況：前年度に比べ引受戸数88戸、引受棟数223棟の増加であり、令和2年の有資格1,684戸に対して58.5%の加入率となった。

共済金額2,756,815千円の内訳は特定園芸施設2,098,451千円、附帯施設328,212千円、施設内農作物20,123千円、撤去費用29,942千円、特定園芸施設復旧費用109,742千円、附帯施設復旧費用29,647千円、付保割合追加特約140,697千円であった。

(被 害)

項目 区分	被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共 済 金 額	
	組合員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施設内 農作物	撤 去 費 用	復 旧 費 用	付保割合 追加特約		合 計
ガラス室Ⅱ類	人 1	棟 1	基	円 278,130	76,462	円	円 146,041	円	円	円	円 222,503	% 0.3
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ 類 (パイプ)	157	324	66	78,408,270	57,396,889	3,519,690	1,099,743		944,889	62,961,211	3.8
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	3	3	3	2,064,388	1,527,849	97,000	24,117			1,648,966	0.7
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	3	7	6	786,924	356,595			272,942		629,537	0.3
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	4	8	1	1,182,543	787,643	136,224		22,165	96,389	1,042,421	0.2
	Ⅴ 類 (鉄骨上)											
Ⅵ 類 (雨よけ)	4	7	1	2,207,829	1,598,301	167,960				155,181	1,921,442	49.6
計	(延) (実) 172 168	350	77	84,928,084	61,743,739	3,920,874	1,269,901		295,107	1,196,459	68,426,080	2.5

○ 被害概況：前年度に比べ被害棟数287棟、共済金58,995千円の増加となった。

事故種類別の被害棟数及び共済金は、風害44棟2,088千円（3.1%）、雪害296棟64,737千円（94.6%）、その他気象（落雷）2棟228千円（0.3%）、病虫害1棟105千円（0.2%）、獣害4棟995千円（1.5%）、過年度事故の復旧費用として3棟273千円（0.4%）であった。

また、主な雪害及び風害は1月7日からの大雪及び強風であり、主な病虫害はメロンのつる割病による被害であった。

(支 払)

項目 区分	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
		保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
当年度分	円 68,153,138	円 31,775,724	円 19,130,573	円 17,246,841	円	円	% 100.0
過年度分	272,942		272,942				100.0
合 計	68,426,080	31,775,724	19,403,515	17,246,841			100.0

6. 任意共済関係

(1) 建物共済

(引 受)

区分 \ 項目	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金		
建 物	棟 34,184	円 376,748,160,000	円 228,218,027	円 141,662,456	円 11,021,000	火災共済：29,531棟 総合共済：4,653棟

○ 前年対比：共済金額 97.4%

○ 引受概況：高齢化による農家数の減少などにより、加入棟数は火災共済で1,450棟の減少となったが、総合共済では自然災害補償ニーズの高まりにより541棟の増加となった。

(事 故)

区分 \ 項目	事故棟数	加入総共済金額	共済金	備 考
建 物	棟 350	円 4,282,810,000	円 97,358,677	火災：7件、落雷：120件、建物の外部からの物体の落下等：14件、車両の飛び込み：41件、給排水設備の事故に伴う水ぬれ：3件、水道管凍結：10件、盗難によるき損又は汚損：2件、雪害：103件、風水害：50件

○ 事故概況：前年度に比べ事故棟数129棟、共済金58,241千円の増加となった。

事故の内訳は、落雷の発生件数が全体の34.3% 9,574千円、雪害が29.4% 25,613千円、車両の飛び込み等が11.7% 7,578千円、風水害が14.2% 12,261千円、建物外部からの物体の落下等が4.0% 372千円、盗難による毀損又は汚損が0.6% 20千円、火災が2.0% 41,516千円、給排水設備の事故に伴う水ぬれが0.9% 149千円、水道管凍結が2.9% 275千円であった。

(2) 農機具共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台当たり 平 均 共済金額	備 考
				純共済掛金	賦課金		
		台	円	円	円	円	
	農機具	5,117	19,936,380,000	54,776,372	22,589,072	3,896,000	屋外型：4,454台 屋内型：663台

- 前年対比：共済金額 99.3%
- 引受概況：前年度に比べ加入台数91台、共済金額140,400千円の減少となった。

(事 故)

区分	項目	事故台数	加入総共済金額	共済金	備 考
		台	円	円	
	農機具	132	972,200,000	24,909,329	接触・衝突：74件、転覆・墜落：5件、火災：1件、自然災害：6件、獣害：2件 物体の落下及び飛来等：2件、異物の巻き込み：7件、その他稼動中の事故：35件

- 事故概況：前年度に比べ事故台数33件増加、共済金7,205千円の減少となった。
主な事故原因は、接触・衝突事故が69台と全体の56%を占め、機種別では、トラクタとコンバインが81台と全体の61.4%を占めた。

(3) 保管中農産物補償共済

(引 受)

区分	項目	戸数	共済金額	共 済 掛 金		1 戸当たり 平 均 共済金額	備 考
				純共済掛金	賦課金		
		戸	円	円	円	円	
	保管中農産物補償	8	9,000,000	15,750	6,750	1,125,000	Aタイプ：9口 農産物：米 Bタイプ：-

- 前年対比：共済金額 —
- 引受概況：令和2年9月より引受開始となり、戸数8戸、共済金額9,000千円の引受となった。

(事 故)

- 事故概要：被害なし

7. 委託事業 収入保険

(引 受)

項目		戸数	基準収入金額	保険金額	積立金	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	1戸当たり 平均 基準収入金額	備考
区分			円	円	円	円	円	円	
内 訳	個人	881	6,682,116,850	4,758,457,912	597,583,383	47,324,322	149,396,154	7,584,696	
	法人	272	11,397,541,523	8,187,584,091	1,022,963,361	83,386,397	255,740,936	41,902,726	
合計		1,153	18,079,658,373	12,946,042,003	1,620,546,744	130,710,719	405,137,090	15,680,536	

○ 引受概況：顧客リストに基づき戸別訪問等による加入推進を実施した結果、令和2年度の新規加入は396戸となった。

(経営形態別・規模別内訳)

経営 形態	分類	1 ha 未満	5 ha 未満	10 ha 未満	20 ha 未満	20 ha 以上	分類別合計
		戸	戸	戸	戸	戸	戸
個人	水田	110	248	99	117	79	653
	野菜	67	65	6	3	-	141
	果樹・花き	48	29	5	2	-	84
	その他	1	2	-	-	-	3
個人計		226	344	110	122	79	881
法人	水田	-	2	9	25	207	243
	野菜	5	7	3	3	3	21
	果樹・花き	-	2	2	2	-	6
	その他	1	-	1	-	-	2
法人計		6	11	15	30	210	272
規模面積別合計		232	355	125	152	289	1,153
割合 (%)		20.1	30.8	10.8	13.2	25.1	

(令和元年支払い)

項目		戸数	保険金等支払額	保険金	特約補填金	1戸当たり 平均 保険金等支払額	備考
内 訳	個人	109	102,873,050	46,397,111	56,475,939	943,789	引受戸数367件
	法人	35	171,935,289	73,151,532	98,783,757	4,912,437	引受戸数111件
	合計	144	274,808,339	119,548,643	155,259,696	1,908,391	引受戸数478件

(経営形態別支払い内訳)

経営 形態	分類	気象災害		病虫害		鳥獣害		その他 (病気による作付不能 等)		販売価格の低下		分類別合計	
		戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数(件)	支払額
個人	水田	42	41,405	4	2,529	5	3,490	5	725	1	182	57	48,331
	野菜	20	28,465			1	794	6	6,328	6	6,327	33	41,914
	果樹・花き	13	9,379	2	1,018	2	1,508	1	559			18	12,464
	その他	1	165									1	165
個人計		76	79,414	6	3,547	8	5,792	12	7,612	7	6,509	109	102,874
法人	水田	19	61,593			2	7,916			1	972	22	70,481
	野菜	6	36,835	1	20,978			1	20,240	2	3,766	10	81,819
	果樹・花き	2	2,971									2	2,971
	その他	1	16,665									1	16,665
法人計		28	118,064	1	20,978	2	7,916	1	20,240	3	4,738	35	171,936
分類別合計		104	197,478	7	24,525	10	13,708	13	27,852	10	11,247	144	274,810
割合(%)		72.2	71.8	4.8	8.9	6.9	4.9	9.0	10.1	6.9	4.0		